

監査報告書

令和5年5月26日

社会福祉法人花輪ふくし会

理事長 松浦 勉 殿

監事 黒澤 隆三

監事 北村 幸光


私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
 - (2) 事業報告に記載されている理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他社会福祉法人の業務の適正を確保するために必要なものとして社会福祉法施行規則（昭和26年厚生省令第28号）第2条の16各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部管理体制）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - (3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（社会福祉法施行規則第2条の33各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。
- 以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
 - ③ 内部管理体制に関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部管理体制に関する事業報告の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

- (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果
会計監査人あすの監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

令和4年度決算監査に係る監事意見書

1. 新型コロナウイルスへの対応について

令和5年5月8日から感染症法上の位置づけがこれまでの「2類」から「5類」に移行されました。これにより感染者数はこれまでの「全数把握」から「定点把握」に変わり、感染動向を捉える頻度や精度は低下するものと考えられます。

しかし、こうしたなか一昨年のコロナ感染を踏まえ、対応に当たった職員からの意見を集約し、初動態勢の見直しを図るなど4年度の発生時に大きな成果を上げ、マニュアル作成に向け取組んでいる事業所も見られるなど心強い限りです。大変ご難儀をかけますが、引き続き利用者様の安全・安心のためご尽力下さるようお願い申し上げます。

2. 「トヨタ生産方式」による業務改善について

令和4年度から収益向上策として「トヨタ生産方式」を活用した業務改善に取組まれています。これは先ず管理者自身が本来の趣旨を理解したうえで、何のために取組むのかなど職員に周知すべきですが、結果を求めるのみで上滑りが認められます。従って会議で課題発掘のためアンケートを行うと決めたが、4か月を経過するもののアンケート用紙すら作成していないなど、未だスタートラインに着けない事業所が認められます。

組織が一体となって取組むことで大きな成果が得られるものと思います。更なる取組みの強化をお願いします。

3. 職員1人当たりの生産性の向上について

令和4年度決算においてサービス活動増減差額が2期連続マイナスとなった事業所が認められます。これは新型コロナウイルスのほか、ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済制裁からくる諸物価の高騰等が主因と考えられます。

しかし、事業を継続するためには利益を生み出すことが不可欠で、赤字での維持継続は不可能です。そこで職員1人がどれだけの費用を使い、どれ位の収益を上げ、いくら利益を確保したかなどの分析が必要です。またこのことは職員の効率や人件費に見合った働き方などの概要を掴むことが出来ます。勿論目標達成のためには当然ながら監督者による適

切な管理が求められることは言うまでもありません。

つきましては前述2の「トヨタ生産方式」による業務改善と併せて1人当たりの生産性向上にも努めていただくようお願いします。

以上

社会福祉法人花輪ふくし会

監事 黒澤 隆三



監事 水谷 幸男

